

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|-----------|-----------|----------|-----|-------|
| 105-2 | 中学校 | 社会科 | 地図 | 1-3学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 46帝国 | 地図046-72 | 中学校社会科地図 | | |

1 編修の基本方針

総合的な基本方針 変化する世界と日本を、広く、深く、自ら学べる地図帳

★これからの社会を担う中学生に、グローバル化する国際社会で活躍するための基礎教養として、地図帳の活用を通して、世界と日本の幅広い知識を身につけてほしい。また、地理的な事象や現代社会の諸課題について、その背景、要因までを含めて深く追究してほしい。こうした願いのもと、私たちは次の3つの基本方針に沿い、編修に取り組みました。

{ 世界と日本の地域的特色が捉えられる地図帳 }

- 世界への関心を高められる州別鳥瞰図 →p.1
- 人々の営みを通した日本の国土理解ができる地図表現 →p.2
- 地理的な見方・考え方を働かせられる問いコーナー →p.3
- 地域に根付いた日本の伝統文化が学べる工夫 →p.4
- 日本の領土を正しく理解できる豊富な地図資料 →p.4

{ 持続可能な社会について考察できる地図帳 }

- SDGs(持続可能な開発目標)の観点から捉えるさまざまな地図 →p.4
- 自然災害・防災への意識を高める地図 →p.3
- SDGsの観点で捉えた世界の統計資料 →p.2

{ 多様な場面で活用できる地図帳 }

- 社会科3分野での活用を重視した資料 →p.3
- 修学旅行などでの活用も意識した資料 →p.3
- ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した見やすい地図 →p.2
- 鮮明で美しい印刷と軽量化に努めた用紙 →p.2
- インクルーシブ教育への配慮 →p.3
- 学習を深められるQRコンテンツ →p.3

※罫は学習指導要領との対照表を示しています。

教育基本法第2条第1号に関する基本方針

1 世界への関心を高められる州別鳥瞰図

- 世界各州のイラスト付きの鳥瞰図を掲載しています。各州の地域的特色を大観できます。
- 地形だけではなく、世界各国の自然環境や生活・文化、産業などさまざまな特色がより視覚的に読み取れます。
- 小学校からの橋渡しとなるように、親しみやすいイラストを多数掲載しています。

世界の鳥瞰図掲載ページ

- 中国とそのまわりをながめてみよう (p.29-30)
- アフリカ州をながめてみよう (p.47)
- ヨーロッパ州をながめてみよう (p.53-54)
- 北アメリカ州をながめてみよう (p.65-66)
- 南アメリカ州をながめてみよう (p.72)
- オセアニア州をながめてみよう (p.79-80)

▼p.79-80(部分) オセアニア州をながめてみよう

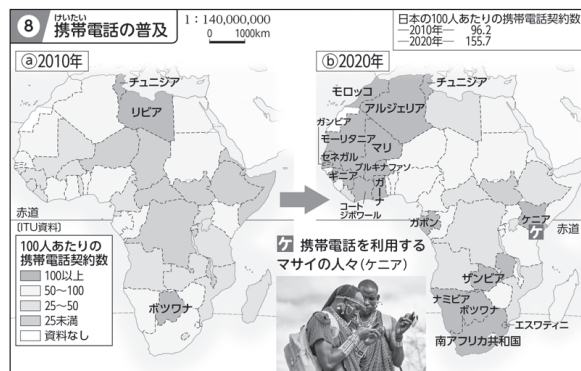


2 世界・日本の新しい動きが読み取れる資料

- ・携帯電話の普及などのICT関連、再生可能エネルギーや電気自動車など、国内外の新しい動きへの理解が深まる主題図を掲載しています。

3 人々の営みを通した日本の国土理解ができる地図表現

- ・日本の地図では、土地の高さによる色分け(等高段彩表現)と、土地の使い方による色分け(土地利用表現)を併用しています。
- ・多彩な絵記号を配することで、地域のように地域における人々の暮らし、地域で産する農産物・工業製品などを端的にわかるようにしています。



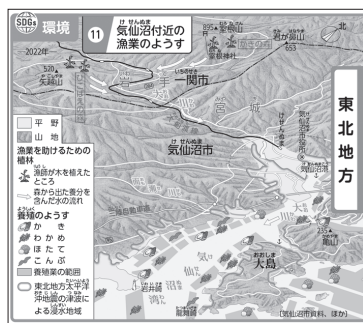
▲p.48⑧ 携帯電話の普及

A : 田は、水が得やすい大きな河川沿いの盆地に集中して広がっていることがわかります。

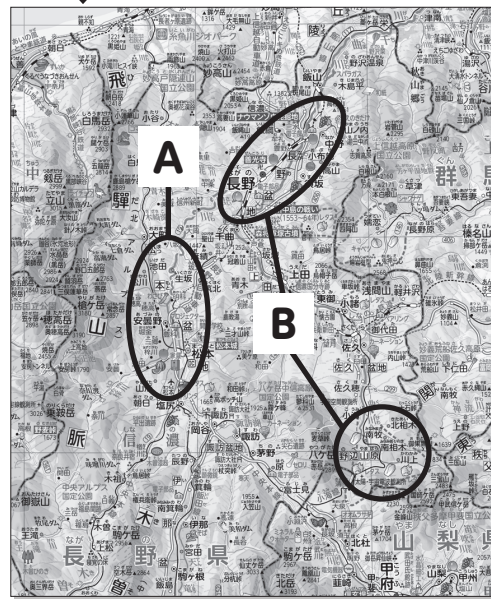
B : 田の周辺のやや標高の高い場所では、レタスやキャベツなどの畑作や、りんごやぶどうなどの果樹栽培が行われていることがわかります。

- ・農業や工業に関する主題図・鳥瞰図を多数設け、日本各地域の農林水産業や工業のようす、そこでの人々の努力や工夫などを理解できるようにしています。

p.142⑩「気仙沼付近の漁業のようす」
漁師が山に植林することによって、養分豊富となった湾での養殖のようすを捉えられるようになりました。



▲p.142⑩ 気仙沼付近の漁業のようす



▲p.119-120(部分) 中部地方

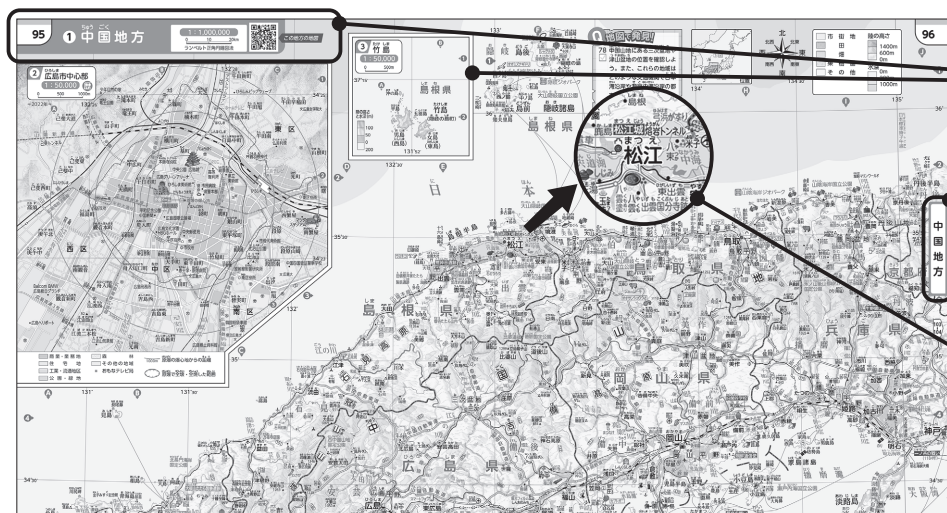
4 鮮明で美しい印刷と軽量化に努めた用紙

- ・独自のクサ色(黄緑色)のインキを加えた5色で印刷し、田や畑などの土地のようす(土地利用)を鮮やかに表現しています。
- ・軽くて耐久性に優れた地図帳専用用紙を開発し、生徒の日々の持ち運びの負担にならないように配慮しています。

●教育基本法第2条第2号に関する基本方針

1 ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した見やすい地図

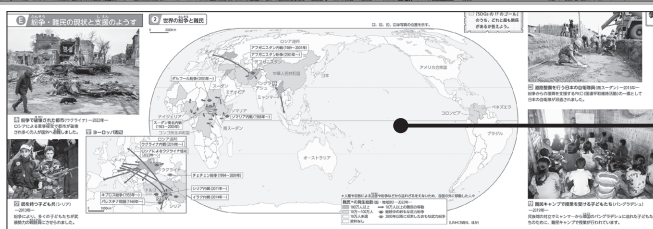
- ・地図帳全編にわたってユニバーサルデザインを採用しています。色や文字の書体・大きさに加えて、絵記号のデザインやレイアウトの統一にも配慮しています。



タイトル・ページ番号・インデックスをすぐに確認できるように大きく、それぞれの位置を固定(統一)しています。また、図と図の間の仕切り線を太くし、図のまとまりをわかりやすくしています。

誰もが見やすい地図を目指し、フォント(書体)は可読性の高いUDフォントを採用しています。また、中でも可読性の高い丸ゴシック系を多用するようにし、国名・都道府県名・主要都市名などの重要な地名には縁取りを付けて見やすくしています。

▲p.95-96(部分) 中国地方



主題図やグラフなどの文字を大きくして見やすくしています。また色づかいは色覚に特性のある生徒でも識別しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)を採用しています。

▶p.13-14(部分)
地図で考える持続可能な社会(4)

2 深い学びや豊かな創造性につながる充実した資料

・同じ縮尺の主題図を並べ、変化や関係性などを追究できるようにしています。→ **学習指導要領との対照表 p.1**をご参照ください

3 地理的な見方・考え方を働かせられる問い「地図で発見！」

- ・学習活動を通して地理的な見方・考え方を働かせられ、地図活用の技能(スキル)が身につく問いコーナー「地図で発見！」を全156問設けています。
- ・生徒が一人でも主体的に取り組めるようになっていきます。中には、生徒同士の対話を意識した問いも入っています。

▼p.6(部分) 問いコーナー「地図で発見！」

Q 問いコーナー「地図で発見！」
 社会科の学習内容を、地図をもとに確認したり深めたりする問いのコーナーです。全部で156問あります。基礎的な内容から発展的な内容まで、さまざまなレベルの問題で構成されています。

Q 地図で発見!
 63 オーストラリア西部のマウントホーエールバックで採掘された鉄鉱石は、どのような輸送手段で輸出されているか、二つ答えよう。
 64 ①図で緑色や茶色の地域のような色、②図と③図を関連させて説明しよう。

→ **学習指導要領との対照表 p.1**をご参照ください

4 インクルーシブ教育への配慮

- ・インクルーシブ教育に配慮し、p.196③「手話で表してみよう」では、都道府県名や都道府県庁所在地名を手話で表しています。

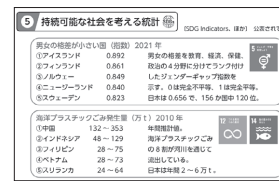
●教育基本法第2条第3号に関する基本方針

1 平等な社会の実現や社会参画への意識を高められる工夫

- ・問いコーナー「地図で発見！」では、生徒自らが世界の諸課題について考え、よりよいあり方について検討したり、他の生徒と話し合ったり、協働して取り組めるような課題や作業を提示しています。
- ・環境問題や脱炭素への動きなどの資料をはじめ、世界と日本の諸課題について深く考察できる主題図を多数設けています。

→ **学習指導要領との対照表 p.2**をご参照ください

- ・p.21「各国語のあいさつの例」など、男女のキャラクターをほぼ同数で掲載し、男女の平等を意識できるようにしています。



▲p.180⑤ 持続可能な社会を考える統計

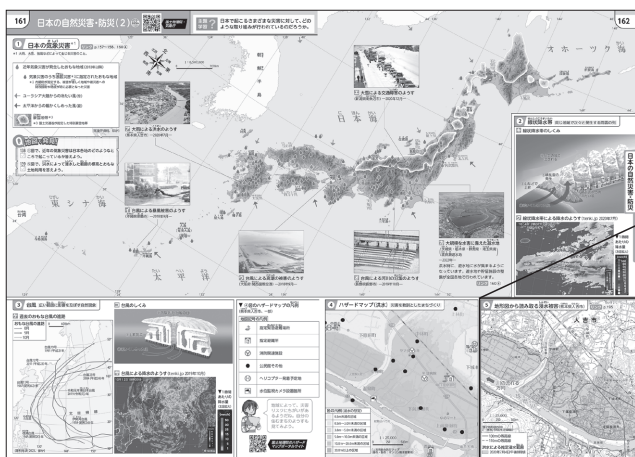


▲p.21(部分) 各国語のあいさつの例

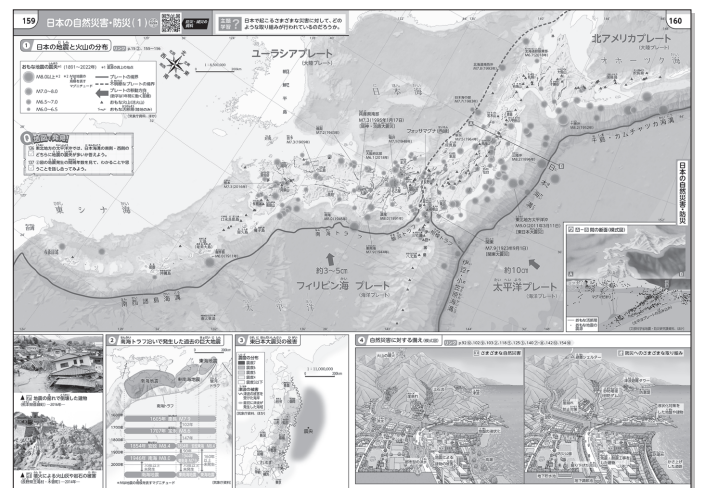
●教育基本法第2条第4号に関する基本方針

1 自然災害・防災への意識を高められるさまざまな工夫

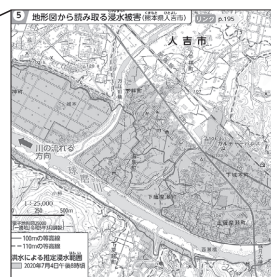
- ・日本で起こりやすい自然災害と、それへの対策についてわかりやすく示しています。
- ・地震と火山の分布に加えて、新たに気象災害に関する地図や資料を充実させています。
- ・日本の各地方の主題図において“防災”をテーマとする資料を設けています。



▲p.161-162 日本の自然災害・防災(2)



▲p.159-160 日本の自然災害・防災(1)



▲p.162⑤ 地形図から読み取る浸水被害

p.159-160「日本の自然災害・防災(1)」日本で起こるさまざまな自然災害に対して、実際に行われている取り組みを模式図で示しています。

p.161-162「日本の自然災害・防災(2)」もしもの災害から身を守ることを地形図とハザードマップから学べるようにしています。

防災に関する資料

- 島原半島の火山災害への備え(p.92⑫)
- 広島市付近にある水害の碑の分布(p.102⑨)
- 神戸市付近の地震災害への備え(p.103②)
- 大阪湾周辺の地形—地形と歴史・防災—(p.107-108)
- 富士山噴火時の降灰予想(p.118⑤)
- 洪水への備え(p.125③)

- 東京都周辺の地形—水と人の関わり・防災—(p.133-134)
- 都市型洪水への備え(p.140⑦)
- 東京都の大規模災害への備え(p.140⑧)
- 宮古市(老老)の津波への備え(p.142⑫)
- 札幌市の雪への備え(p.154⑩)
- 日本の自然災害・防災(1)、(2)(p.159-160、p.161-162)

2 持続可能な社会について考察できる巻頭特集や主題図

- ・巻頭では、世界全体の課題となっている環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題に関する特集ページを設けています。その他にも、主題図ごとにSDGsの視点で捉えられる工夫をしています。
 - ・かけがえのない自然環境の保全や、環境問題に対する関心を高められるように、さまざまな資料を掲載しています。
- **学習指導要領との対照表** p.2をご参照ください

※地図中で示した環境に関する凡例



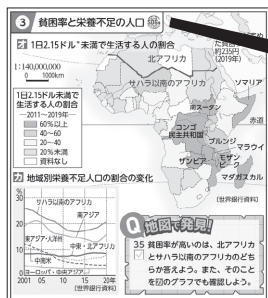
世界自然遺産



ラムサール条約登録湿地

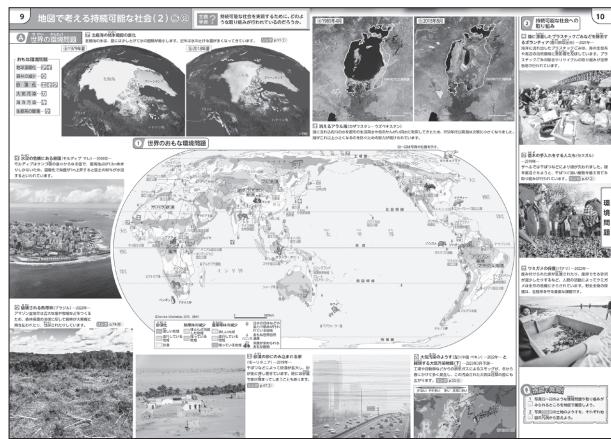


貴重な動物・植物



特にSDGsに関係が深いと考えられる資料には、専用アイコンを設けています。

◀p.47③ 貧困率と栄養不足の人口



▲p.9-10 地図で考える持続可能な社会(2)

p.9-10 地図で考える持続可能な社会(2)
地球温暖化や砂漠化、大気汚染など世界各地で起きているさまざまな問題を地図と写真で確認できます。また、それらの諸課題に対して解決を目指す人々の写真から、持続可能な社会への取り組みも確認できます。

●教育基本法第2条第5号に関する基本方針

1 地域に根付いた日本の伝統文化が学べる工夫

- ・おもな伝統的工芸品や地場産業の絵記号、世界文化遺産の記載など、伝統・文化に関する内容を地図中に盛り込んでいます。
- ・日本の伝統・文化に関する特設ページを設けています。

※地図中で示した伝統文化に関する凡例



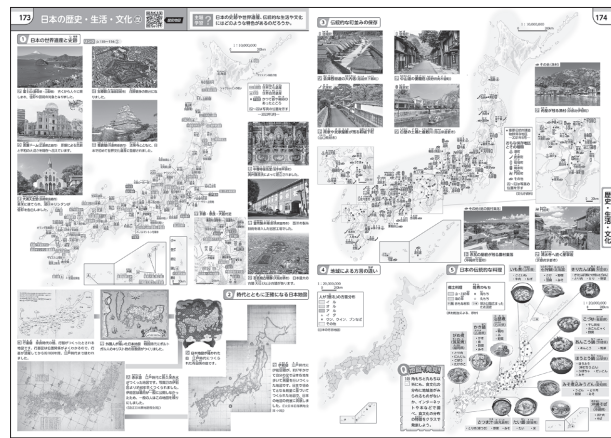
伝統的工芸品



地場産業



世界文化遺産



▲p.173-174 日本の歴史・生活・文化

p.173-174「日本の歴史・生活・文化」
日本各地の伝統的な町並みの保存など、歴史・生活・文化への理解が深まるようにしています。

2 日本の領土を正しく理解できる豊富な地図資料

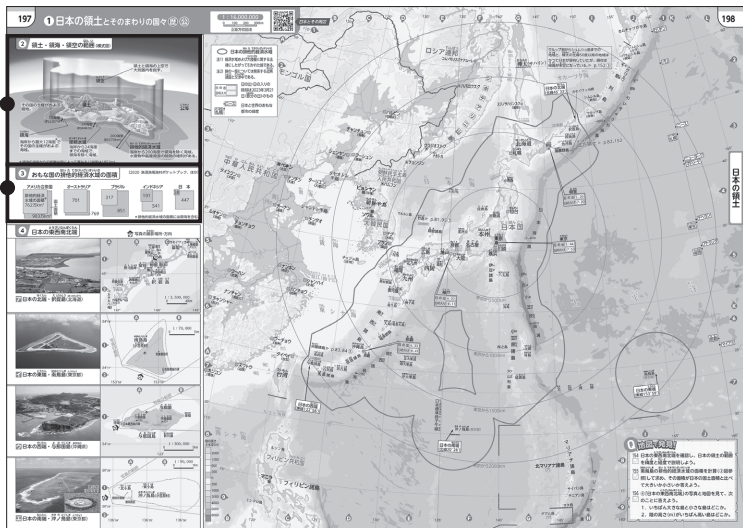
- ・日本の領土に関する資料を充実させました。日本固有の領土は縮尺の大きな地図で確認できるようにしています。

模式図をもとに、領土・領海・領空や排他的経済水域などの概念を理解できるようにしています。

日本とおもな国の国土面積・排他的経済水域面積がわかる資料を入れ、日本の排他的経済水域の規模や重要性を考えられるようにしています。

領土に関する資料

| | | |
|---------------------------|---|------------|
| 日本列島(1)(p.81-82) | → | 北方領土・竹島 |
| 日本列島(2)(p.84⑤) | → | 尖閣諸島 |
| 中国地方(p.95-96) | → | 竹島 |
| 北海道地方(p.151-152) | → | 北方領土 |
| 日本の領土とそのまわりの国々(p.197-198) | → | 領域・排他的経済水域 |



▲p.197-198 日本の領土とそのまわりの国々

2 対照表

| 本書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|--------------------------------------|--|-------------------|
| ◎全体を通して | 空間認識をともなった幅広い知識や教養が身につくように、自然、産業、歴史などさまざまな情報を地図上に掲載しています。また、地図中に等高線を入れたり、土地利用表現を用いたりすることで、土地の高さや各地のくらしのようすを読み取りやすくしています。(第1号) | 本書全体 |
| | 生徒の負担にならないように、丈夫でありながら軽い、地図帳専用の特別な用紙を使用しています。(第2号) | 本書全体 |
| | 地図や資料が読み取りやすいように、ユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し、地図中の国名・都道府県名の赤文字には、白色で縁取りをしています。また、カラーユニバーサルデザインに配慮し、多色の場合には地紋を入れるなど識別がしやすくなるようにしています。(第2号) | 本書全体 |
| | 地図から情報を読み取る力を身につけられるように、地理的な見方・考え方を働かせられる問い「地図で発見！」を全156問設けています。生徒が主体的・対話的に取り組める内容・表現となるように配慮しています。(第2号) | 本書全体 |
| | 自然環境への関心を高められるように、「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「貴重な動物・植物」などの記号を地図に記載しています。(第4号) | 本書全体 |
| 世界の国々 (p.1-3) | 多面的・多角的な世界の見方ができるように、地域の時差が端的に捉えられたり、日本だけでなくヨーロッパ中心の地図を設けたりしています。(第5号) | p.1-3 |
| 地図帳の凡例・使い方 (p.4-7) | 生徒が地図帳を活用しやすいように、小学校の地図学習の復習を含めて、地図帳を活用するための方法を丁寧に示しています。また、地図の概念を端的におさえられるように配慮しています。(第1号) | p.4-7 |
| 地図で考える持続可能な社会 (p.8-14) | 持続可能な社会について考えられるように、巻頭に特集ページを設けています。環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題に関する諸課題を扱っています。(第4号) | p.8-14 |
| 世界の基礎主題図 (p.15-22) | 生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるようにしています。(第3号) | p.21など |
| | 世界の文化を理解しやすくするために、世界の宗教や料理などの資料を掲載しています。(第5号) | p.19-22 |
| 世界の基本図・拡大図 (p.23-78) | 多文化共生への関心を高められるように、すべての国の国旗を掲載しています。(第5号) | p.27など |
| 世界の州別主題図 (p.23-80) | 学習を深められるように、同縮尺の図を複数用意し、各図の要素を比較したり、重ね合わせたりして考察できるようにしています。また、各地域の新しい資料を盛り込んでいます。(第1号) | p.31-32など |
| | 世界各地への興味・関心を高められるように、中国とそのまわり・アフリカ州・ヨーロッパ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州で大鳥瞰図を設けています。(第1号) | p.47など |
| | 環境への関心を高められるように、世界各地の環境問題の取り組みを示しています。(第4号) | p.32⑨など |
| | 国際社会に関心をもてるように、世界とのつながりを示した資料「日本との結びつき」を設けています。(第5号) | p.40④など |
| 日本の基本図・拡大図・都市圏図・都市図 (p.81-152) | 平和学習でも活用できるように、沖縄県や長崎市、広島市の地図を掲載しています。(第5号) | p.92⑩など |
| | 日本の政治・経済への関心を高められるように、沖縄県の資料や霞が関(東京)の地図を掲載しています。(第3号) | p.85-86など |
| | 日本の文化への関心を高められるように、各地の伝統的工芸品や、世界文化遺産を記載しています。(第5号) | p.81-152 |
| | 日本の領土を正しく理解するために、北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真付きで取り上げて、日本固有の領土であることを明記しています。(第5号) | p.81-83、95③、152③ |
| 日本の地方別主題図 (p.85-154) | 地域の変化のようすを捉えられるように、昔と今の比較ができる資料を設けています。(第1号) | p.126など |
| | それぞれの分布や傾向性、事象間の関係性などを考案できるように、地理的分野で学習する自然、人口、産業(農業・工業)、交通などの中核となるテーマを示した地図を地方ごとに同縮尺で掲載しています。(第1号) | p.91など |
| | 環境への関心を高められるように、日本各地の環境問題の取り組みを示しています。(第4号) | p.115⑥など |
| | 多様な災害と対策を捉えられるように、地方ごとに自然災害と防災に関する資料を掲載しています。(第4号) | p.92⑩など |
| 世界と日本の基礎主題図 (p.155-174) | 社会参画に対する意識を高められるように、少子化・高齢化や資源・エネルギー問題など、現代社会が直面する課題についての資料を多数掲載しています。(第3号) | p.163-164など |
| | 日本の自然環境についての基礎的知識が身につくように、日本の地形や世界自然遺産、国立公園、世界ジオパークなどの分布がわかる資料を掲載しています。(第4号) | p.155-156 |
| | 防災への意識を高められるように、日本全体の災害と防災に関するページを掲載しています。また、災害の種類や分布を理解するだけでなく、地形図やハザードマップの見方を身につけられるようにしています。p.195では、地形図について写真や問いをもとにわかりやすく説明しています。(第4号) | p.159-162 (p.195) |
| | 伝統・文化への意識を高められるように、日本の各地に伝わる伝統・文化に関する主題図を設けています。(第5号) | p.173-174 |
| 統計資料・さくいん (p.175-194) | 統計資料やさくいんを充実させ、授業以外においても、生徒自ら活用できるように配慮しています。(第2号) | p.175-194 |
| 都道府県と昔の国名・日本の領土とそのまわりの国々 (p.196-198) | インクルーシブ教育に配慮し、都道府県名などを手話で表すコーナーを設けています。(第2号) | p.196③ |
| | 日本の領土を正しく理解するために、日本の領土や排他的経済水域を見開きの地図で大きく掲載しています。また、東西南北端の島については写真と地図を併用してわかりやすく示しています。(第5号) | p.197-198 |

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|-----------|-----------|----------|-----|-------|
| 105-2 | 中学校 | 社会科 | 地図 | 1-3学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 46帝国 | 地図046-72 | 中学校社会科地図 | | |

1 編修上特に意を用いた点や特色

書目の基本方針 持続可能な社会の実現に向けて、世界・日本の理解を深められる地図帳

★これからの社会の担い手となる中学生が、主体的に世界・日本の各地域への興味・関心をもちながら、世界の諸地域への理解と日本の国土理解を深められるように、以下のような特色をもとに地図帳を編修しています。

1 地図の活用を通して世界と日本の地域的特色が捉えられる工夫

2 持続可能な社会の実現に向けて考察できる工夫

3 多様な場面で活用できる工夫

4 誰にでも見やすい地図表現の工夫

5 学習を深められるQRコンテンツの充実

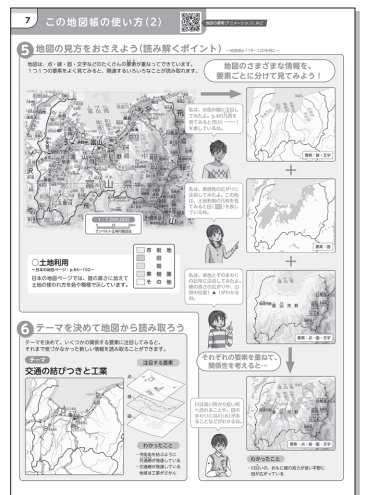
特色1 地図の活用を通して世界と日本の地域的特色が捉えられる工夫

①地理的技能の基本が身につけられる「この地図帳の使い方」

▶p.7

この地図帳の使い方(2)

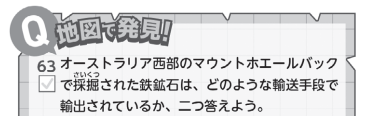
- 生徒が主体的に学習できるように、凡例、方位、地図記号、色、縮尺など、小学校で学習した地図の約束ごとを振り返られるようにしています。
- 地図の基本的な見方・使い方や、要素の重ね合わせなど、地図活用の基礎となる部分を、丁寧に説明しています。高校での地理総合につながる基礎的な考え方も養えます。



②地理的な見方・考え方を働かせられる問いコーナー「地図で発見！」

- 生徒が主体的に取り組みながら、地理的な見方・考え方を働かせられる問い「地図で発見！」を全156問設けています。歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方を働かせられる問いも含まれています。
- QRコード内には、解答に加えて、生徒に向けた各問いのポイント解説も収録しています。生徒が一人でも主体的に取り組みます。→p.3をご参照ください
- 中には、生徒同士の対話を意識した問いも入っています。

▶問いコーナー「地図で発見！」



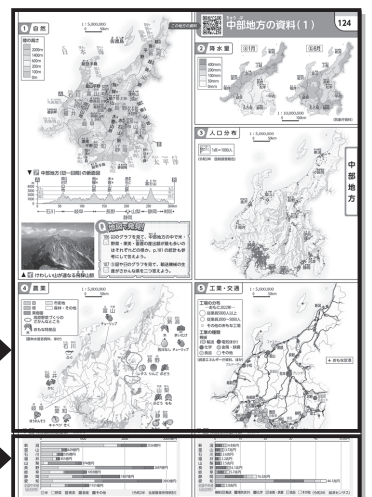
③地理的分野の学習内容を深められる充実した資料

- 比較を通して地域的特色が捉えられるように、世界の主題図は、国や州ごとに自然環境(地形・気候)、人口密度、言語、産業を可能な限り同縮尺で示しています。
- 日本の主題図では、各地方の冒頭に、自然環境、人口、産業、交通の4つの中核となる事象を網羅した①自然(地形)、②降水量、③人口分布、④農業、⑤工業・交通の5図を設けています。
- 地理的分野を中心に、帝国書院の社会科3分野の教科書の各所に配されている「地図帳活用アイコン(地図帳活用)」に対応した地図資料が豊富に掲載されています。
- 学習をサポートするQRコンテンツを多数収録しています。→p.3をご参照ください

▶p.124 中部地方の資料(1)

事象ごとに同縮尺の地図を並べることで図ごとの比較がしやすくなり、それぞれの分布や事象間の因果関係を捉えやすくしています。

農業図と工業図には付図として都道府県別の品目別出荷額・産出額の棒グラフを添付し、都道府県・地方の産業の特徴を捉えられるようにしています。

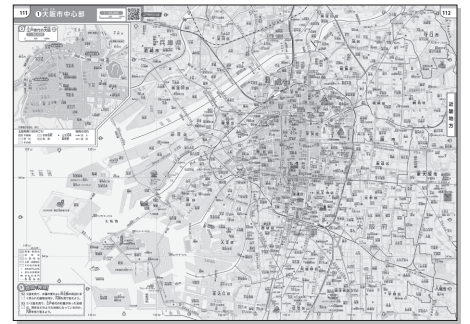


④世界への関心を高められる州別鳥瞰図

- 世界では、各地域を大観できる大鳥瞰図を設けています。→ **教育基本法との対照表** p.1をご参照ください

⑤日本の各地域のようすが詳細にわかる縮尺に応じた適切な地図表現

- 国土理解につながるように、地域のくらしや産業がわかる“土地利用表現”と、地形がわかる“等高線彩表現”を合わせた地図表現を採用しています。
→ **教育基本法との対照表** p.2をご参照ください
- 地域の産業や、特産物が読み取れる「絵記号」を多数掲載しています。
- 日本の地方別地図は、100万分の1の縮尺で統一しています。
- 人口の多い地域は、縮尺50万分の1で統一した都市圏図を設けています。
- 都市圏図は、縮尺5万分の1で統一しています。那覇や神戸、大阪、京都、奈良などの各都市圏を充実させているため、修学旅行などでも活用できます。



▲p.111-112 大阪市中心部

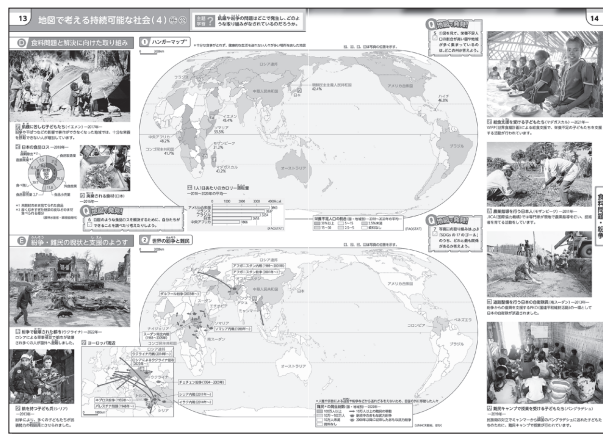
特色2 持続可能な社会の実現に向けて考察できる工夫

①SDGsについて考察できる豊富な資料

- 持続可能な開発目標(SDGs)の観点で、さまざまな地図を捉えられるように工夫しています。例えば、巻頭ページでは、世界全体の課題となっている環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題に関する特集ページを設けています。
- 特にSDGsと関連があると考えられるページや主題図には、専用のアイコン(SDGs)を設けています。→ **教育基本法との対照表** p.4をご参照ください
- 上記の地図や主題図と、SDGsの17のゴールとの対照表を、QRコンテンツに収録しています。地図から持続可能な社会を考察できるようにしています。
- 日本と世界のつながりを示す「日本との結びつき」や世界各州の「環境」に関する資料をコーナー化しています。
- 統計の数値情報からも、持続可能な社会について考えられるようにしています。



▲p.8 地図で考える持続可能な社会(1)

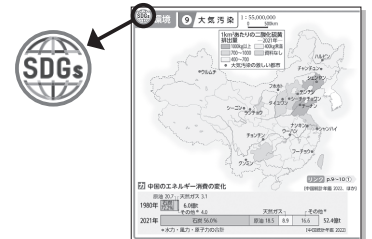


▲p.13-14 地図で考える持続可能な社会(4)

| ページ | ページのおもな内容 | おもなSDGsのゴール |
|-----------|---------------------|-------------------|
| p.9-10 | 世界のおもな環境問題 | 11 12 13 14 15 17 |
| p.11-12 | 世界の二酸化炭素排出量・世界の経済状況 | 1 7 10 13 |
| p.13-14 | ハンガーマップ・世界の紛争と難民 | 2 3 4 16 |
| p.159-162 | 日本の自然災害・防災(1)・(2) | 9 11 13 14 15 |
| p.165-166 | 世界と日本の鉱産資源 | 7 8 9 13 17 |
| p.180(一部) | 持続可能な社会を考える統計 | 5 8 12 14 17 |

| 5 持続可能な社会を考える統計 | | (SDG Indicators, ほか) 公表されています |
|-------------------------|---------|--------------------------------|
| 男女の格差が小さい国(指数) | 2021年 | |
| ①アイスランド | 0.892 | 男女の格差を教育、経済、保健、政治の4分野に分けてランク付け |
| ②ノルウェー | 0.849 | したジェンダーギャップ指数を |
| ③ニュージーランド | 0.840 | 示す。0は完全不平等、1は完全平等。 |
| ④スウェーデン | 0.823 | 日本は0.656で、156か国中120位。 |
| 海洋プラスチックごみ発生量(万t) 2010年 | | |
| ①中国 | 132~353 | 年間統計値。 |
| ②インドネシア | 48~129 | 海洋プラスチックごみ |
| ③フィリピン | 28~75 | の8割が河川を通じて |
| ④ベトナム | 28~73 | 流出している。 |
| ⑤スリランカ | 24~64 | 日本は年間2~6万t。 |

▲p.180⑤ 持続可能な社会を考える統計



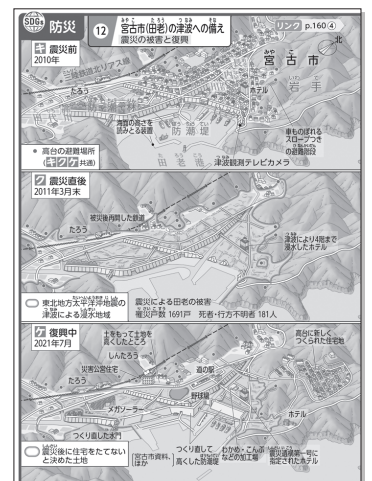
▲p.32⑨ 環境コーナー

地図帳全体を通して、持続可能な社会の実現について考察できる資料を多数設けています。

②身近な地域や日本各地の防災の工夫を読み取れる資料

- 防災学習に役立つように、防災関連の地図を増強しています。災害をもたらす自然現象を、地震・火山と気象災害の2つに分けて巻末の主題図ページで大きく扱っています。
→ **教育基本法との対照表** p.3をご参照ください
- 過去の災害を教訓とした日本各地の取り組みなどを防災コーナーで扱っています。

各地方の資料の中に、防災にクローズアップした主題図を多数設けています。



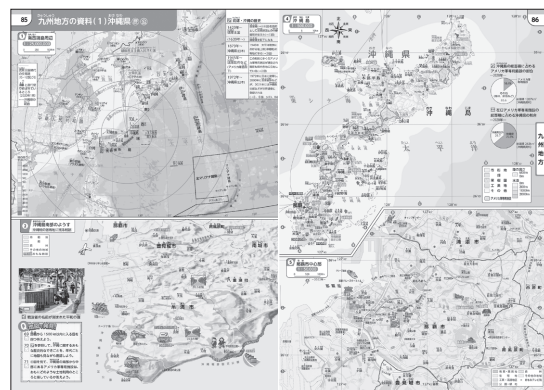
▶p.142⑫ 宮古市(田老)の津波への備え

特色3 多様な場面で活用できる工夫

① 歴史的分野や公民的分野でも活用できる豊富な資料

- 地理的分野以外の学習でも活用できるように工夫しています。例えば、沖縄県の資料では歴史的事象や現在の諸課題などを地図からも読み取れるようにしています。
- 特に歴史的分野での活用に対応している主題図のタイトル横には「歴」アイコン、公民的分野での活用に対応している主題図には「公」アイコンを設けています。生徒が主体的に学習する際にも、視点を捉えやすくしています。

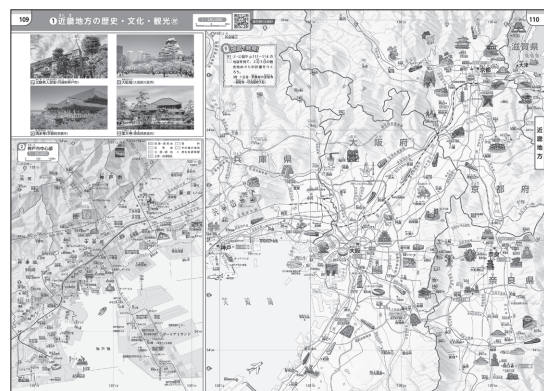
▶p.85-86 九州地方の資料(1)沖縄県



② 総合的な学習の時間や修学旅行などにも活用できる資料

- 社会科の学習以外の教科や総合的な学習の時間でも地図や資料を活用できるように、工夫しています。例えば、近畿地方の歴史・文化・観光のページは、修学旅行の事前・事後の学習に活用できるようにしています。
- p.159①「日本の地震と火山の分布」などの地震の震央とプレートが確認できる防災の資料は、理科などでも活用できます。
- 世界の地図では、外国語学習にも役立つように、国名や主要都市名などの欧文表記を併記しています。

▶p.109-110 近畿地方の歴史・文化・観光



特色4 誰にでも見やすい地図表現の工夫

① 見やすいユニバーサルデザイン

- 誰にでも見やすい地図の実現のために、ユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しています。
→ **教育基本法との対照表** p.2をご参照ください

② 発達段階に応じた、適切な情報量・表現

- 中学生の発達段階を考慮して、学習に適した内容・表現にしています。
- 中学生が興味をもって地図学習に入れる鳥瞰図やイラストを充実させています。

特色5 学習を深められるQRコンテンツの充実

① 学習をサポートするQRコンテンツ

- 1人1台端末の利活用に対応して、社会科の学習を地図帳ならではの観点で補完する資料を多数収録しています。
- 地図活用のための基礎的なアニメーションやクイズ、発展的なウェブマップ(ジオグラフ)など、さまざまなコンテンツを活用できます。
- 地理的分野を中心に、授業時に必要な地図や統計なども示すことができます。

おもなコンテンツの内容

- 地図の基礎・基本(アニメーション含む)
- 小学校の振り返り(クイズ付き) ・SDGs対照表
- 世界の地図・資料 ・日本の地図・資料 ・地域別資料
- 統計資料 ・地域見える化GISジオグラフ
- 「地図で発見!」解答と解説



▲QRコンテンツのメニュー画面



▲地域見える化GISジオグラフ

地図帳全体の特色表

| 観点 | 観点の内容 | 本書の特色 |
|-----------|---|--|
| 内容の選択及び扱い | 正確かつ公正であり、多面的・多角的に考察することで社会的な見方や考え方の基礎を養えるよう配慮がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領(地理的分野)の、世界の諸地域学習における「主題」および「地球的課題」、日本の諸地域学習における地方ごとの「考察の仕方(地方ごとの中核となる事象)」について、授業の実態に応じた幅広い学習に対応できるように工夫されている。 地域の特色が偏らずに理解できるように、多角的に地図・資料が選定されている。 |
| | 生徒の興味・関心に対する配慮がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 中国とそのまわり、アフリカ州、ヨーロッパ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州では、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した大鳥瞰図が設けられ、生徒の興味・関心を喚起させる工夫がなされている。 |
| | 自主的・自発的な学習を指導する上でより適切であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 自学自習の際の指針となるように、地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」ページにわかりやすく解説されている。 地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナー「地図で発見！」が自学自習に役立つよう配置されている。 |
| | 「持続可能な社会」の実現に関して、どのように配慮されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の世界の資料では、持続可能な開発目標(SDGs)について考察できる特集ページが設けられている。環境問題や、脱炭素への動き、食料問題や紛争問題など多数の地図と資料が掲載されている。 「防災」「環境」「日本との結びつき」のテーマをもたせた特設の主題図が掲載されており、現在および将来の社会が直面する課題および持続可能な社会について考えることができるように工夫されている。 日本の生活文化の例として、「伝統的な町並みの保存」「日本の伝統的な料理」の資料などが、地図と豊富な写真で掲載されている。 |
| 内容の程度 | 内容の程度・範囲及び文章は、生徒の心身の発達段階と特性に適しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 地図中の「都道府県名」と「都道府県庁所在地名」に、「とめ・はね・はらい」などが正しい字形となる書体が用いられている。 地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるよう配慮がなされている。 学習上特に重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、国際化への対応がなされている。 「国名」や「首都名」、「都道府県名」や「都道府県庁所在地名」など、学習上特に重要な地名は大きく太い文字で記載され、「国名」や「都道府県名」は他の地名よりも目立つように白色で縁取りが付されている。 |
| | 小学校との接続に関して、どのような配慮がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 小学校で身につけた技能を生かせるよう「地図帳の使い方」が具体的に示されている。 小学校からの接続が円滑に進められるよう、鳥瞰表現を用いた親しみやすい表現の地図が掲載されている。 小学校用地図帳の問いコーナーを、発展・深化させる形で「地図で発見！」が設置され、地図帳の使い方や地理的な見方・考え方が系統的に身につくように配慮されている。 |
| 内容の構成及び配列 | 構成及び配列は、学習指導上、より適切かつ効果的であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領(地理的分野)に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選定されている。また、通常の地図に加え、視覚的に捉えやすい鳥瞰図を多用することで、内容が焦点化され、理解しやすい表現になっている。 世界の州、日本の地方はいずれも、それぞれの地域の特色を具体的に読み取れるよう「一般図」→「主題図」という配列で構成されている。 |
| | 統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られるなど活用するにあたり効果的であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 統計資料は、巻末にまとめて掲載され、地方別、項目別に色分けがなされているため、数値的に地域の特徴や違いを捉え説明しやすいよう配慮されている。 世界の地図は黄緑色と茶色で、高さごとに色分けした等高段彩表現を用い、土地の起伏感が捉えられるように工夫がなされている。日本の地図表現では、国土理解につながるよう、地域のくらしや産業が見える土地利用表現と、地形が見える等高段彩表現を合わせた地図表現がなされている。 地形のようすが捉えやすいよう、等高段彩表現にレリーフ(陰影)表現を合わせた立体感のある地図表現がなされている。 |
| 創意工夫 | 選択、扱い、構成、配列、表現などに、適切な創意工夫が認められるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の拡大図(地方別地図)は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の8地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。 他のページに関連した内容の資料がある図版には、参照ページが付記されている。 世界・日本のページの右端に、州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいように配慮されている。また、タイトルを原則左上に固定して配置し、生徒が確認しやすいように配慮されている。 |
| 使用上の便宜 | 判型、印刷、製本が学習指導上、より適切であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 大判の判型(A4判)を生かし、地域を学ぶ際に最も適切な図取りとなるよう配慮されている。 生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、軽量化された紙と堅牢な製本様式が用いられている。 |
| | 紙質や印刷の鮮明度などは良好で、利便性に配慮がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 地図・写真を美しく鮮明に表現するために、地図帳専用の特殊な用紙が使用されている。また、通常の4色印刷にクサ色(黄緑色)のインキを加えた多色刷り(5色)で印刷されている。 地球環境に配慮して、再生紙と植物油インキが使用されている。 |
| | 製本は3年間の使用に耐えうる仕様であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられるとともに、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な仕様で製本されている。 |
| | 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインへの配慮が行われているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 色覚に特性のある生徒でも色を識別して地図が読めるように、カラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩表現への工夫がなされている。 赤文字で記された都道府県名・国名については、読みやすいよう白色で縁取りされている。 土地利用表現の色の下に模様(地紋)が入っており、色の違いを識別しやすくしている。また、陸の高さの違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。 |

2 対照表

| 本書の構成・内容 | 構成・内容の特色 | 学習指導要領の内容 |
|--|---|--|
| ◎全体を通して | <p>【地理的分野】…充実した世界の地図、主題図から、世界に関する地理的認識を深められる。また、さまざまな地域の事象を示した日本の地図、主題図から、国土認識を深め、地域的特色を動的に捉えられる。資料は多角的に題材が選定され、地域的特色を偏らずに理解できる。</p> <p>【歴史的分野】…日本・世界の一般図に示された「重要な歴史地名・事項」から、我が国と関連する世界の歴史の大きな流れを、現在と重ね合わせて捉えられる。</p> <p>【公民的分野】…世界の地図や主題図から、世界全体や諸地域の課題を把握し、国際協調の取り組みの重要性を認識できる。</p> | |
| ①世界の国々 (p.1-3) | <p>【地理的分野】…世界の大陸や海の分布、国々の位置関係、生活環境、諸地域のように大きく掲載され詳細に捉えられる。我が国の国土の位置や世界との時差などを把握できる。</p> <p>【公民的分野】…世界の国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割を理解できる。</p> | A(1) B(1) (2) D(1) |
| ②地図帳の凡例・使い方 (p.4-7) | <p>【地理的分野】…地図帳の使い方、世界各地の人々の生活と環境、諸地域の特徴などを調査し、理解できる。世界と比べた日本の地域的特色を大観し、諸地域のようにさまざまな観点から考察できる。</p> | A(1) B(1) (2) C(2) (3) |
| ③地図で考える 持続可能な社会 (p.8-14) | <p>【地理的分野】…世界の各地でみられる地球的課題や持続可能な開発目標(SDGs)に示されたさまざまな課題を捉えられる。</p> <p>【公民的分野】…地球環境、資源・エネルギー、貧困、紛争などの諸課題を理解できる。</p> | B(2) A(1) D(1) |
| ④世界の基礎主題図 (p.15-22) | <p>【地理的分野】…世界のさまざまな地域と人々の生活から、諸地域の多様性や地域的特色、地球的な課題を捉えられる。日本の地域的特色の学習にも世界の中での日本の特色を捉える観点で活用できる。</p> <p>【公民的分野】…世界の文化や宗教の多様性を知り、国際協調について考えられる。</p> | A(1) B(1) (2) C(2) D(1) |
| ⑤世界の基本図・拡大図 (p.23-78) | <p>【地理的分野】…世界の多様な地域と生活を、おもに州ごとに大観しながら捉えられる。</p> <p>【歴史的分野】…各時代の世界の歴史の大きな流れを捉えられるとともに、それらが日本の歴史にどのような影響を与えたか、世界との関連を通して日本の歴史を考えられる。</p> <p>【公民的分野】…紛争地域やさまざまな問題を抱える世界各国の状況から、国家間の相互理解と協力、国際機構の重要性について捉えられる。</p> | A(1) B(1) (2) B(1) (2) (3) C(1) D(1) |
| ⑥世界の州別主題図 (p.23-80) | <p>【地理的分野】…世界の諸地域の多様性や地域的特色を、おもに資料や統計などを用いて州ごとに大観できる。世界と比べてみた日本の特色の理解にも活用できる。</p> <p>【歴史的分野】…古代からの大陸と日本との関わり、文化の影響などを捉えられる。</p> | A(1) B(1) (2) C(2) B(1) (2) |
| ⑦日本の基本図・拡大図・ 都市圏図・都市図 (p.81-152) | <p>【地理的分野】…日本全体の特色の大観と諸地域の地域的特色を、おもに地方別に捉え、国土の認識を深める学習につなげられる。</p> <p>【歴史的分野】…日本の一般図に掲載された「重要な歴史地名・事項」や地域的特色を示す主題図から身近な地域の歴史への関心を高められる。大阪や江戸の都市図から、経済、文化の中心となったようすを読み取ることができる。</p> | A(1) C(1) (2) (3) B(3) |
| ⑧日本の地方別主題図 (p.85-154) | <p>【地理的分野】…日本の諸地域の地域的特色を、鳥瞰図や統計、資料などを用いて地方ごとに大観したり、比較を通して変化や因果関係を考察したりすることができる。また、身近な地域の調査にも、資料の観点を役立てることができる。</p> <p>【歴史的分野】…地域的特色を示す主題図から身近な地域の歴史への関心を高められる。</p> | A(1) C(1) (2) (3) (4) A(2) B(3) |
| ⑨世界と日本の 基礎主題図 (p.155-174) | <p>【地理的分野】…世界の諸地域の特色を世界全体の主題図から大観し、また日本と比べることで、日本の地域的特色を捉えられる。</p> <p>【公民的分野】…日本の社会の特色を捉え、世界全体の課題解決のために国際協調の取り組みの重要性を認識できる。</p> | A(1) B(2) C(2) (3) A(1) D(1) |
| ⑩統計資料・さくいん (p.175-194) | <p>【地理的分野】…世界のさまざまな地域、日本の諸地域について、統計などの資料からその特徴を捉えられる。持続可能な社会について統計から考察できる。</p> | A(1) B(1) (2) C(1) (2) (3) (4) |
| ⑪地形図の読み取り方 (p.195) | <p>【地理的分野】…地図の基本となる地形図の読み方を身につけられる。</p> | C(1) |
| ⑫都道府県と昔の国名・ 日本の領土と そのまわりの国々 (p.196-198) | <p>【地理的分野】…我が国の国土の位置や領域、地域区分について、正しく理解できる。</p> <p>【歴史的分野】…昔の国名の地図から、廃藩置県より前の日本の地域区分を捉えられる。</p> <p>【公民的分野】…我が国の国土の領域について、用語とともに正しく理解できる。</p> | A(1) C(2) C(1) D(1) |